

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパンとアクロニス・ジャパンがランサムウェア対策におけるアライアンスを発表

2016年1月20日（水）

ー企業向け統合型セキュリティプラットフォームのグローバルリーダであるWatchGuard (R) Technologiesの日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、社長執行役員

根岸正人、以下ウォッチガード）と、次世代データ保護におけるグローバルリーダであるアクロニス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役

大岩憲三、以下アクロニス）は、このたび、データ保護とセキュリティの観点からランサムウェア対策のソリューションを企業に対して積極的に提案すべく、アライアンスを締結することを発表しました。両社は、中堅・中小企業を中心に両者のソリューションによるランサムウェアへの効果的な対策と感染時のデータ消失のリスク削減を啓発していきます。

2015年から感染報告が増加しているランサムウェア

ランサムウェアは、PCやサーバを感染させることにより、コンピュータ内のファイルを暗号化し、ファイルの復元と引き換えにランサムウェアの作者が感染したコンピュータの所有者に対して身代金を要求する恐喝型のウイルスです。 [2015年12月](#)

頃から日本でも被害が拡大しているランサムウェア「CrypTesla」は、ファイルを暗号化した上でファイル拡張子を「.vvv」に変えることから、「vvvウイルス」という呼び名がメディアを通じて広まりました。当初は日本での被害は限定的という見方がありましたが、個人ユーザや企業ユーザからの被害報告が日々増加している状況です。

ランサムウェアに感染したPCだけでなく、そのPCが接続しているファイルサーバやNASなどに保存されているファイルにも被害が及ぶなど、実害が深刻化しています。さらに、感染するプラットフォームもWindows環境から、Android、iOSなどに拡大しており、被害の急激な増加が懸念されています。

セキュリティ対策と定期的なシステム（イメージ）バックアップ

各セキュリティベンダが、ランサムウェアに関する感染を未然に防ぐためのセキュリティ教育の必要性やセキュリティ強化を推奨するなか、利用しているセキュリティ製品を最新の状態に保つほかに、万一、ランサムウェアに感染してしまった場合を想定した対策として、PCやサーバ上のデータの定期的なバックアップが挙げられています。

ファイル単位のバックアップを対策として推奨している場合があるものの、実際の被害としては、保存しているドキュメントファイルだけでなく、PCやサーバのシステムファイルも被害に遭うケースが報告されており、感染するファイル数が数千、数万となった場合、PCやサーバを初期化・再設定するしか手段がなく、バックアップの方法によっては感染前の状態に戻せなくなるリスクが高くなります。

アライアンス締結の背景

ウォッチガードおよびアクロニスは、被害の増大が懸念されるランサムウェアの脅威に対して、事前の予防対策から、万が一の感染被害の発生時の対応まで、IT分野のカテゴリを超えた啓発活動の必要性を感じ、被害に遭う可能性の高い企業（特に中堅・中小企業）に向けたソリューションの啓発活動を共同で実施していくことで同意しました。

(アクロニス・ジャパン株式会社 代表取締役 大岩 憲三)

「このアライアンスにより、アクロニスが10年以上、市場で培ってきたイメージバックアップが企業のランサムウェア対策として標準となり、より多くのユーザー様がランサムウェアの被害からPCやサーバのデータを保護できるよう、ウォッチガードとの協力体制のもと、活動してまいります。」

(ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 社長執行役員 根岸正人)

「ネットワークセキュリティ対策のウォッチガードとバックアップ対策のアクロニスが共同でランサムウェア対策ソリューションを啓発することにより、お客様に悪質化するサイバー攻撃の実態をより分かり易く理解していただくとともに、包括的なセキュリティ対策の重要性をアピールしていきたいと考えています。今後、共同で構築するソリューションの紹介や、相談窓口の設置、セミナーイベントなどを企画していく予定です。」

【アクロニスについて】

アクロニスは、バックアップ、災害復旧およびセキュアアクセスソリューションによって次世代データ保護の標準を確立します。AnyDataエンジンを活用し、仮想、物理、クラウドおよびモバイルといったあらゆる環境におけるすべてのファイル、アプリケーションおよびシステムを対象に、容易かつ安全で、包括的なバックアップおよびセキュアアクセスを実現します。2003年の設立以降、アクロニスは、世界145カ国の500万人以上の個人ユーザーと50万社以上の企業におけるデータを保護しています。50件以上の特許を保有したアクロニスの製品は、移行、クローン作成、レプリケーションなどのさまざまな機能を備えています。詳細については、

<http://www.acronis.com>

をご覧ください。また、最新情報など、ソーシャルメディアでも提供しております。

Twitter : https://twitter.com/acronis_japan

Facebook : <http://www.facebook.com/acronisjapan>

【WatchGuard Technologiesについて】

WatchGuard (R)

Technologiesは、多機能統合型ビジネスセキュリティソリューションのグローバルリーダーであり、業界標準のハードウェア、ベストインクラスのセキュリティ機能群、そしてポリシーベース管理ツールのインテリジェントな連携を実現しています。ウォッチガードでは、利便性に優れたエンタープライズクラスの保護機能を世界中の膨大な数の企業／団体に提供しています。米国ワシントン州シアトルに本社を置き、その他北米、欧州、アジア太平洋地域、および南米に拠点を構えています。詳細は www.watchguard.co.jp

をご覧ください。その他追加情報、プロモーション活動、アップデートは以下のSMSにアクセスしてください。

Facebook : <https://www.facebook.com/watchguard.jp>

WatchGuardは、WatchGuard Technologies, Inc. の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

[東京都港区麻布台1-11-9](http://www.watchguard.co.jp) CR神谷町ビル5階

マーケティング担当：堀江

Tel : 03-5797-7205

Fax : 03-5797-7207

Email : jpnsales@watchguard.com

URL : <http://www.watchguard.co.jp>

アクロニス・ジャパン株式会社 担当 : 宮田

TEL: 03-6430-1442 / Email: Media_jp@acronis.com

Generated by ぷれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>